

地域活動と企業の連携

中山間地域

現 状

- ・ 農業生産に不利な地形
- ・ 人口減少
- ・ 高齢化
- ・ 担い手・労働力不足
- ・ 鳥獣被害
- ・ 震災による風評被害

課 題

- ・ 集落の活気が薄れ、地域活動の衰退が懸念。
- ・ 地域の農業や特産品づくりの後継者が不足し、地域産業の継続が困難になるおそれ。



農業体験や援農ボランティア等、地域で活動に取り組むが・・・

- ・ 地域内の人材不足
- ・ 参加者が少ない
- ・ 広報が不得手
- ・ 天候に左右される



- ・ 地域産業の労働力確保
- ・ 若者や都市部との交流機会増加



——地域活動・地域産業の継続

イオン株式会社

理 念

2012年3月から長期にわたる被災地の復興支援「イオン心をつなぐプロジェクト」で「ボランティア派遣」に取り組む。

現在は、“地域の未来を「とものつくる」環境・社会貢献活動”という方針のもと、地域社会との交流に重点を置いた活動に取り組んでいる。

取 組 み

地域の現状とニーズに寄り添い、東北各地で実践的な活動に取り組んでいる。

今回は、丸森町耕野でころ柿づくりの援農ボランティアに参加。



収穫した柿は、1つずつ手作業で加工。ころ柿が出来上がるまでには、たくさんの手間がかかるんだな。

- ・ 実践活動を通じ、地域との関わりを深める
- ・ 特産品のブランド化支援
- ・ 持続可能な地域共同体の復興を支援

——「一企業×一地域」



このボランティアのおかげで、特産品づくりを継続できている。

風評被害から、特産品を復活させたい！

元気をもらえる！

まだまだ頑張ろうと思える。

